

冬

休みを安全に楽しく過ごすために

☆ 社会的行事にすずんで参加し、社会の一員として協力しようとする態度を育てる。

○ 年末から年始にかけて、昔からいろいろな行事がどこでも行われます。この機会を生きた生活科や社会科学習の場としてとらえ、進んで行事に参加することは、行動を通して日本古来の伝統文化を肌で感じることで、感ずる絶好の体験学習になると思っています。

○ そして、社会の一員としての自覚をうえつけたいものです。

☆ 正しいあいさつ、正しい言葉づかいを身に付けるよい機会である。

○ 気持ちの良いあいさつ、きれいな言葉づかいは、相手によい印象を与え、相手を尊重する大切な行いであり、人として大切なことです。(あいさつをきちんとできる子にするには、家庭で家族同士が声を



かけ合うことが大事です。

また、年下の者が目上の人にするのが基本です。

○ お正月は親戚や知人の家をたずねたり、お客さんがたくさん集まったりして、多くの人々と接する機会がたいへん多くなります。生きた生活科・社会科学習の中で、正しい言葉づかい、正しいあいさつを身に付けさせてください。

☆ 家族の結びつきを深める。

○ 冬休みは生活の中心が家庭にあります。

どの家庭も、年末・年始で忙しくなります。このようなときに、家族の一員として積極的に手伝いをさせることを通して勤労を尊ぶ態度を身に付けさせてください。

それがまた、家族としての協力と温かさを生むものになります。

☆ 規則正しい生活で、健康を保つ。

○ 年末・年始は、あわただしい中で明け暮れるのも、時間的にも乱れがちになります。また、とかくめずらしいごちそうもあり、運動不足にも



なり、胃腸等の具合が悪くなる

ことがありません。規則正しい生活と運動で身体をきたえることも、計画の中に忘れずに入れてください。(外遊び、なわとび、マラソン、雪遊び、スポ少活動、スイミング、ウインタースポーツ等)

○ 冬の訪れとともに、今季もインフルエンザが流行することが予想されます。手洗い、うがい、規則正しい生活による睡眠時間の確保に気をつけさせるとともに、外出の際にはマスクを着用させる等、お子さんの健康管理をよろしくお願いします。



☆ 安全に気をつけて生活する。

○ 年末・年始は、人も車もあわただしく走りまわります。その上、積雪もあつて交通事故がおこりやすくなりますので、十分に注意させてください。

(小学生の事故の原因は、「飛び出し」が最も多く、自転車の事故も急増しています。)



○ 降雪時、積雪時、道路の凍結時の自転車乗りは決してさせないようにご指導ください。日々の十分な声かけをお願いいたします。

ます。

○ 子どもだけで危険な場所(湖、川、池、沼、用水路など)に決して近づかないようお声かけください。

○ ここ数年不審者の出現が後を絶ちません。見知らぬ人には絶対についていけないようご指導ください。

(いつも防犯ブザー等を携行し使えるようにしておくこと、いざという時に役に立ちます。)



○ 学区外へは、親子同伴で出かけることがルールですが、繁華街、ゲームセンター等で子どもだけになった時に恐喝などの被害にあうことがあります。市街地に出かける際は、できるだけ子どもから目を離さないようご注意ください。

なお、条例により、ゲームセンターへの入場は左記のように定められていますのでご注意ください。(たとえ、保護者同伴であっても同じです。)

16歳未満：午後6時まで

16歳～18歳：午後8時まで